

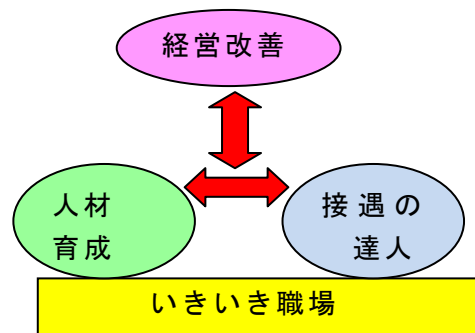
寒さも緩み、風が心地よくなってきました。春の花が色とりどり咲き、桜の花も満開でお花見の計画をしている人も多いと思います。新年度が始まりました。ニューフェイスも増え新たな気持ちで頑張りましょう。



21 年度看護部方針

看護部長 野中 時代

一人ひとりが人材育成を行い、お互いを育て合う。
現場のムダをなくし、経営改善に向け、効率的な取り組みを行なう。



わが国の医療界では医師不足が発端となり、平成 17 年「医療崩壊」とネーミングされてから、4 年目を迎えています。同様に常滑市民病院でも医師不足が続き、医業収益が減じている中で私達看護部は「生き残りを賭けて」さまざまな取り組みをしています。昨年に引き続いて、21 年度もいきいき職場を土台に、挨拶の飛び交う元気な現場をつくりあげる。そして、おもてなしの心と看護の心で接遇の達人をめざしていく。人材育成においては先輩・後輩でお互いを育て合い、各自のキャリア開発に努める。他人よりほんの少し余計の苦労とほんの少しの努力を忘れずに自己を一步一步進めていく。

学ぶことには「入学式はあっても卒業式はないこと」を頭におき、チャレンジ精神を忘れない看護師をめざす。今年度は新人を 10 名迎えます。今、先輩達がワクワクしながら、迎える準備をしています。きっと、常滑市民病院に就職してよかったと思えるでしょう。

また、現場ではムダをなくし、引き続き経営改善に取り組んでいきます。材料の見直しなどの経費削減に一丸となって取り組み、その効果を可視化し、健全な経営に貢献していきたいと思えます。これらの取り組みが新病院建設に向けての準備期間の地固めになればと思っています。



21 年度現任教育委員会の取り組みについて

現任教育委員会 教育長 久米 淳子

教育は組織を変える源である。そんな信念の基、看護部教育プログラムを企画・運営しています。21 年度も皆さんの協力を得ながら新しい教育企画にチャレンジしていきます。新人看護師研修を計画している中で自院の誇れること。それは、新人看護師離職率が数年来 0% だということです。(2004 年日本看護協会調査報告より、新人看護師の一年以内の離職率 9.3%) 新人看護師ひとりひとりを大切に、新人看護師自らが育つ環境を整えること、それは同時に自分達の職場環境を整える事でもあります。新人看護師が働き易い職場・生き活きと育つ職場は、人間関係が良く、教育的配慮ができていく職場です。今年度もローテーション研修後に「働きたい職場 VEST 3」を新人看護師に選択してもらい、その結果を職場に還元させたいと考えています。

「さあ皆さん、新人看護師に選ばれる職場にしていましょう！」

現在、現任教育委員で手分けをして、各研修のシラバス(教育活動に関する詳細な計画書。目標と内容・使用教材・指導計画・指導方法・評価方法等が記載されたもの)を作成中です。はじめての試みではありますが、意図的に学習者を主体的な学びに導く為には、教授者が代わったとしてもぶれのない教育計画書が必要となります。21 年度は教育委員会自身も成長の年でもあると思っています。

「最後に、生き活きと働き活き活きと学ぶ。こんな時代だからこそ、楽しく学び楽しく働きましょう！」



研修報告!



妊娠中から退院後までの具体的な支援を学ぶ—今後の取り組みに反映するためには—

平成 21 年 1 月 13 日～23 日 2 階病棟 八木 和子

21 年 4 月より産科再開に伴い助産師外来を立ち上げる予定である。今までの指導内容を見直し、また現在の問題点である人工乳育児をベースにした授乳の仕方や産科システムのあり方を明確にする為に、大府市の産院で 2 週間の研修を経験した。そこで現場における助産師の課題でもある母乳育児支援サポートをするための保健指導の重要性を知った。

- 1) 問題があってもなくても、妊娠・出産・母乳育児をするお母さんたちに対しては、カウンセリング的なかかわりが重要
 - 2) 母乳で育てたいお母さんの為に母乳の良さを知ってもらい母乳を出す方法を指導する必要性
 - 3) 母乳育児の初期は、頻りに授乳練習を繰り返すことが良いとされている。
- そのため、お産直後から母子同室を行い、授乳姿勢・抱き方・児が正しく吸啜しているかに注目する。これは何分吸っているかより大切なことである。

妊娠中の教育が反映されることも実践を通してわかった事である。実際母乳不足は、助産師のかかわり不足や方向性の間違いでおこってくることもある。この研修で出産した母親、新生児との触れ合いや母乳ケアの実践を通して思ったことは、まず母親の分娩体験に寄り添うこと、次に赤ちゃんとセットでみること。長期的視点(妊娠中から)に立って支援することである。これらの学びを生かしていきたい。

初めてのプリセプターを行う人のための研修

平成 21 年 1 月 22 日 手術センター 蟹江 明裕

プリセプターシップにおけるオンザジョブトレーニング(OJP)は、技術の習得に有効だとされている。その中で技術は運動的スキルと知的スキルに分けられる。運動的スキルは仕事の手順や機会操作など身体を動かすことで発揮される能力である。知的スキルは判断、分析、評価、情報処理など頭脳を通して発揮される能力である。運動的スキルは手取り足取りで教えられるが、知的スキルはアセスメント+行動であり新人の考えるプロセスを育成する必要がある。そこでプリセプターの主体的な行動を引き出して思考のプロセスを養成できるものが、D.C. ゴルフの言う「学習のサイクル」を回転させることであるとわかった。「学習のサイクル」とは、「体験する→意味づけをする→慎重に試す→繰り返し体験する」という 4 つの項目を繰り返して、学習を進めていくというものである。もし、新人指導はうまくいかない時は新人が「学習のサイクル」の中のどの部分で止まっているのかを考える。再びサイクルが回り出すための手助けをすることがプリセプターに必要な役割であると研修を通して学んだ。

平成 20 年度メンタルヘルス研修会

平成 21 年 1 月 29 日 外来 大崎 まなみ

今回、西知多こころのクリニックの竹内先生の講義を受けさせて頂き、うつ病になりやすいきっかけや性格・接し方等を学ぶことができました。

身体の不調を感じた場合、初診は内科や婦人科や耳鼻科等の他科に受診される方が大半で、精神科に受診される方は、20%程度だそうです。ストレス社会の今、ストレスを軽減されることはなかなか難しい。そこで先生がおっしゃっていたのは【プライベートを楽しむ】ということでした。当たり前のことのようにだがなかなか難しいことです。自分のために時間を持ち、趣味を持ち、楽しみを持つことが毎日心身ともに健康で暮らすためにもとても必要なことだと学びました。



4 月 14 日から新人ローテーション研修が始まります！
かわいい新人ナースをみんなでお支えしましょね！！

